

第 27 回自然系調査研究機関連絡会議 (NORNAC27) 調査研究・活動事例発表会 プログラム

日時： 令和 6 年 11 月 20 日(水) 9:30～12:30

会場： 神奈川県立生命の星・地球博物館
(神奈川県小田原市入生田 499)

タイムテーブル

- 9:00 ～ 受付開始
- 9:30 ～ 10:20 ポスター発表コアタイム (50 分. 15 題. P-1～P-15)
- 10:20 ～ 10:25 休憩・移動 (5 分)
- 10:25 ～ 10:30 開会挨拶 (5 分)
- 10:30 ～ 11:30 口頭発表 (前半 4 件, 0-1～0-4, 各発表 12 分+質疑 3 分)
- 11:30 ～ 11:40 休憩 (10 分)
- 11:40 ～ 12:25 口頭発表 (後半 3 件, 0-5～0-7, 各発表 12 分+質疑 3 分)
- 12:25 閉会挨拶 (5 分)

プログラム

- 9:30 ～ 10:20 ポスター発表コアタイム (50 分. 15 題. P-1～P-15)
- P-1 愛媛県で確認されたマミズクラゲの出現記録
愛媛県総合科学博物館 小林 真吾
- P-2 GBIF Backbone Taxonomy における日本産生物の学名に関する課題 ～維管束植物を例に～
国立科学博物館 海老原 淳
- P-3 アルゼンチンアリに対する冬季における防除について
愛知県環境調査センター 山田 由貴
- P-4 種の保存法における国内希少野生動植物のカドハリイの紹介と保全
茨城県県民生活環境部環境政策課生物多様性センター 茂垣 はるえ
- P-5 「市民調査員と連携した生物季節モニタリング」について
国立環境研究所 杉島 野枝
- P-6 榎野川河口干潟における住民参加型里海再生活動について
山口県環境保健センター 元永 直耕
- P-7 名古屋市内の主要河川における付着珪藻相
名古屋市環境科学調査センター 福岡 将之

- P-8 千葉県における侵略的外来水生植物の繁茂域拡散の原因と対策
千葉県立中央博物館 林 紀男
- P-9 市民等からの目撃情報および捕獲実績を活用したヌートリアの分布域の推定
名古屋市環境局なごや生物多様性センター 曾根 啓子
- P-10 名古屋市におけるエビ・カニ類を対象とした市民参加型調査
名古屋市環境局なごや生物多様性センター 加藤 航大
- P-11 絶滅危惧種ヤツガタケキノボウゲの生息域内保全：防鹿柵による緊急的な保護対策の実施
長野県環境保全研究所 尾関 雅章
- P-12 埼玉県における県民参加を主体とした特定外来生物”クビアカツヤカミキリ”被害調査
埼玉県環境科学国際センター 三輪 誠
- P-13 鈎取山モミ希少個体群保護林の歩道整備前後の林床植生の比較
神奈川県立生命の星・地球博物館 石田 祐子
- P-14 現存植生図 GIS データ整備と今後の方向性
環境省生物多様性センター 山下 慎吾
- P-15 モニタリングサイト 1000 高山帯調査から見てきた地表徘徊性甲虫類の変化
環境省生物多様性センター 平松 新一
- 10:30～ 11:30 口頭発表（前半 4 件、0-1～0-4、各発表 12 分+質疑 3 分）
- 0-1 福井県自然保護センターにおける国内希少野生動植物種ヤシャゲンゴロウの生息域外保全について
福井県自然保護センター 大宮 正太郎
- 0-2 愛媛県における特定外来生物対応状況―初動対応における連携事例―
愛媛県生物多様性センター 村上 裕
- 0-3 県民参加型生物モニタリング調査「生命（いのち）のにぎわい調査団」の取組と課題
千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター 加賀山 翔一
- 0-4 アイランドシティはばたき公園の止水性湿地における年間を通じた環境 DNA メタバーコーディング法に基づく鳥類調査の取り組み
福岡県保健環境研究所 更谷 有哉

● 11:40～12:25 口頭発表（後半 3 件，0-5～0-7，各発表 12 分+質疑 3 分）

0-5 静岡県の高標高地域における気候変動モニタリング

静岡県環境衛生科学研究所 山崎 創太

0-6 能登半島地震における隆起と潮間帯動植物への影響について

石川県のと海洋ふれあいセンター 東出 幸真

0-7 神奈川県及び山梨県におけるコブハクチョウ *Cygnus olor* の繁殖抑制の試みと個体管理

神奈川県立生命の星・地球博物館 加藤 ゆき